

立命館大学大学院

2018年度実施 入学試験

博士課程前期課程

文学研究科

行動文化情報学専攻/考古学・文化遺産専修

※2019年9月入学 入学試験は、筆記試験の実施がないため掲載していません

入試方式	実施月	コース	専門科目		外国語 (英語)	
			ページ	備考	ページ	備考
一般入学試験	9月	研究一貫	×		×	
	2月		×		×	
	9月	高度専門	P.1～			
	2月		P.4～			
社会人入学試験	9月	研究一貫	×			
	2月					
	9月	高度専門				
	2月					
外国人留学生入学試験	9月	研究一貫				
	2月					
	9月	高度専門				
	2月					
学内進学入学試験	9月	研究一貫				
	9月	高度専門				
学内進学入学試験 (大学院進学プログラム履修生対象)	2月	研究一貫				
	2月	高度専門				
APU特別受入入学試験	9月	研究一貫				
	9月	高度専門				

立命館大学大学院
2018年度実施 入学試験
博士課程後期課程
文学研究科

行動文化情報学専攻/考古学・文化遺産専修

※2019年9月入学 入学試験は、筆記試験の実施がないため掲載していません

入試方式	実施月	科目	ページ	備考
一般入学試験	2月	英語	×	
外国人留学生入学試験	9月			
	2月			
学内進学入学試験	2月			

2019年度 立命館大学大学院文学研究科入学試験問題

2018年9月15日

博士課程前期課程 行動文化情報学専攻
考古学・文化遺産専修

「専門科目」

●受験上の注意

- ① 試験中、冊子をばらしても構わないが、終了後再び綴じて提出すること
(ホッチキスを貸与します)
- ② 全ての用紙に受験番号、氏名等を記入し、提出すること

●試験中の持込許可物件について

- ① 筆記用具、受験票、時計以外の持込は認めない

文学研究科入学試験答案用紙

専攻・専修名	課程	科目	コース	受験番号	氏 名
行動文化情報学専攻 (考古学・文化遺産専修)	前期課程	専門科目	☐ 研究一貫 ☒ 高度専門		

問 1 次の 3 題から 1 題を選んで論述せよ。

- (1) 日本文化と縄文文化との関係に関する認識が考古学的研究の進展とともにどのように議論されてきたか、明治・大正・昭和初期（戦前）・それ以降（戦後）の 4 時期に分けて概略を述べよ。ただし、次の語句をすべて使用すること。モース 清野謙次 森本六爾 藤森栄一
- (2) 弥生時代や古墳時代の祭祀や儀礼について、考古資料にもとづいて具体的に論ぜよ。
- (3) 歴史時代の考古学の特色を念頭に置きながら、この時代の生産と流通について、具体的な事例を挙げながら論ぜよ。

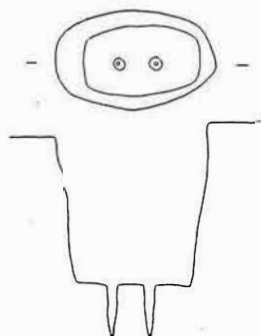
問 2 次の 6 項目から 3 項目を選び、それぞれ 3～5 行程度で説明せよ。

- (1) 瀬戸内技法
- (2) 年縞
- (3) 福岡県吉武高木遺跡
- (4) 佐原真
- (5) 緑釉陶器
- (6) 大宰府

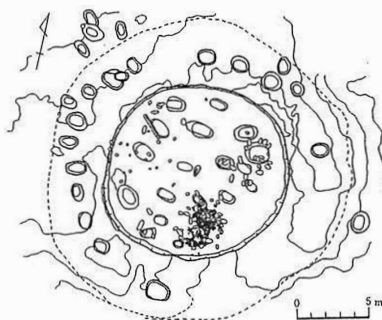
文学研究科入学試験答案用紙

専攻・専修名	課程	科目	コース	受験番号	氏 名
行動文化情報学専攻 (考古学・文化遺産専修)	前期課程	専門科目	☐ 研究一貫 ☒ 高度専門		

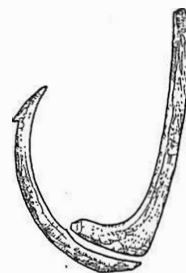
問3 次の図A～Iの中から3つ選び、それぞれ3～5行程度で説明せよ。



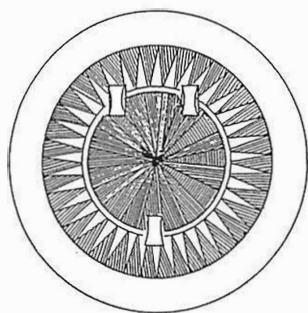
A



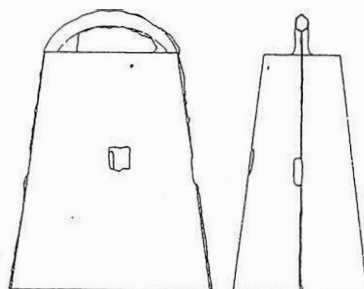
B



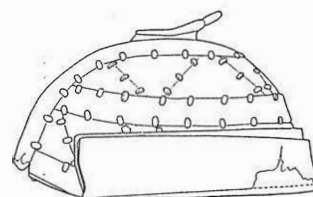
C



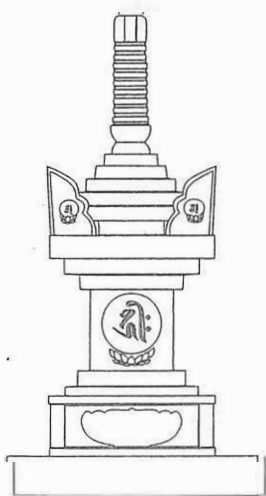
D



E



F



G



H



I

【出典】

- A: 石上英一 [ほか] 編集『岩波日本史辞典』岩波書店, 1999年 p.1356掲載の図 (図版作成: 有馬伸, 作成時参考資料: 八王子市南部地区遺跡調査会『南八王子地区遺跡調査報告』10, p.141の23の図). 権利者の許可を得て掲載。
- B: 石上英一 [ほか] 編集『岩波日本史辞典』岩波書店, 1999年 p.1356掲載の図 (図版作成: 青木政幸) (ISBN:4-00-080093-0) 権利者の許可を得て掲載。
- C: 石上英一 [ほか] 編集『岩波日本史辞典』岩波書店, 1999年, p.1362掲載の図 (図版作成: 藤井幸司, 廣瀬寛) (ISBN:4-00-080093-0) 権利者の許可を得て掲載。
- D: 工楽善通編『弥生人の造形』, 講談社, 1989年, p.39掲載の図, (古代史復元, 5) (ISBN:4-06-186425-4) 権利者の許可を得て掲載。
- E: 小田富士雄 (1981)「宇佐市別府出土小銅鉞の復元」, 九州古文化研究会編『古文化談叢』第8集, p. 210掲載の図 権利者の許可を得て掲載。
- F: 末永雅雄著『日本上代の甲冑』創元社, 1944年, p.39掲載の図 権利者の許可を得て掲載。
- G: 狭川真一, 松井一明編 岡本智子執筆『中世石塔の考古学』高志書院, 2012年, p.29掲載の図 (ISBN:978-4-86215-108-7) 権利者の許可を得て掲載。
- H: 田中琢, 佐原真『日本考古学事典』三省堂, 2002年, p.746掲載の図 (所蔵元: 奈良文化財研究所) (ISBN:4-385-15835-5) 権利者の許可を得て掲載。
- I: 坪井清足, 鈴木嘉吉編『埋れた宮殿と寺』, 講談社 (古代史発掘, 9), 1974年, p.82掲載の写真 (写真撮影: 講談社写真部 佃幹雄, 被写体所蔵元: 奈良文化財研究所) 権利者の許可を得て掲載。

2019年度 立命館大学大学院文学研究科入学試験問題

2019年2月16日

博士課程前期課程 行動文化情報学専攻
考古学・文化遺産専修

「専門科目」

●受験上の注意

- ① 試験中、冊子をばらしても構わないが、終了後再び綴じて提出すること
(ホッチキスを貸与します)
- ② 全ての用紙に受験番号、氏名等を記入し、提出すること

●試験中の持込許可物件について

- ① 筆記用具、受験票、時計以外の持込は認めない

文学研究科入学試験答案用紙

専攻・専修名	課程	科目	コース	受験番号	氏 名
行動文化情報学専攻 (考古学・文化遺産専修)	前期課程	専門科目	☐ 研究一貫 ☒ 高度専門		

問 1 次の 3 題の中から 1 題を選んで論述せよ。

- (1) 旧石器・縄文時代に関する研究は社会においていかなる意義を有していると考えるか。自分自身の研究と自分以外の他の研究をそれぞれ 3～5 行程度で紹介したうえで、それぞれの意義を比較しながら論ぜよ。自分以外の他の研究は自分自身の研究と内容が類似しているかどうかは問わないが、研究の意義については相互に関連させて論ずること。
- (2) 近年、鳥取県青谷上寺地遺跡出土の人骨から DNA をとりだすことに成功し、母系をたどることができるミトコンドリア DNA において、渡来系弥生人に分類されるグループが多く検出された。青谷上寺地外でも、弥生時代や古墳時代において渡来した人々の痕跡は様々な遺跡から見つかっている。弥生時代から古墳時代までの間に渡来した人々は、いつ、どこから、なぜ、どのようにして日本列島へ渡り、どのような影響を与えたのか、具体的な遺跡名を挙げて述べよ。
- (3) 歴史時代の考古学を研究する上で、文献史料や民俗資料はどのように活用されてきたか、また、文献史学と民俗学との関係はどうあるべきか。自己の専門分野にあてはめて論ぜよ。

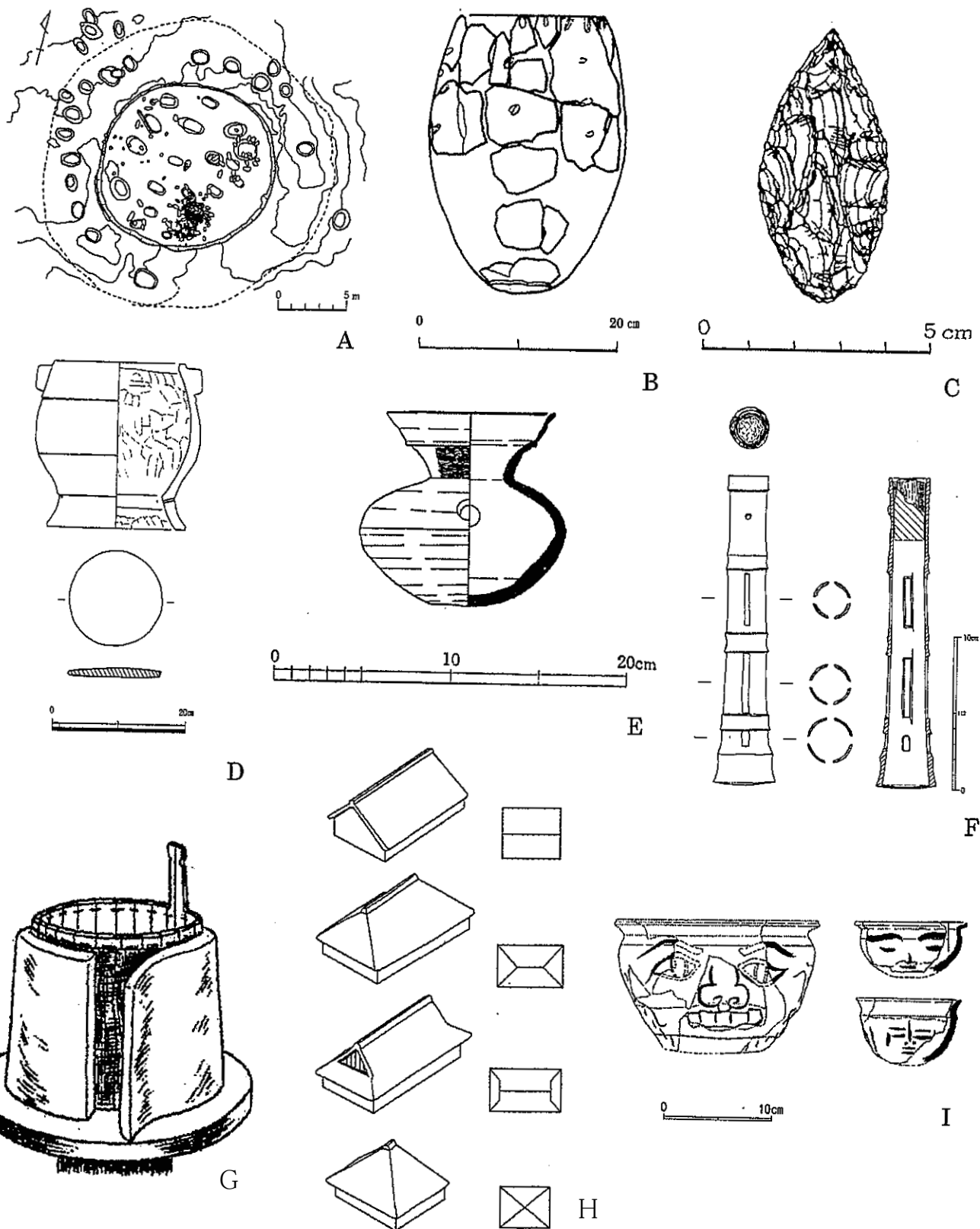
問 2 次の 6 項目から 3 項目を選び、それぞれ 3～5 行程度で説明せよ。

- (1) 藤森栄一
- (2) 福井洞窟
- (3) 喜田貞吉
- (4) 奈良県黒塚古墳
- (5) 猿投山古窯跡群
- (6) 博多遺跡群

文学研究科入学試験答案用紙

専攻・専修名	課程	科目	コース	受験番号	氏 名
行動文化情報学専攻 (考古学・文化遺産専修)	前期課程	専門科目	☐ 研究一貫 ☒ 高度専門		

問3 次の図A～Iから3つを選んで3～5行程度で説明せよ。



- [出典]
 A: 石上英一 [ほか] 編集『岩波日本史辞典』, 岩波書店, 1999年 p.1357掲載の図 (図版作成: 青木政幸) 権利者の許可を得て掲載。
 B: 石上英一 [ほか] 編集『岩波日本史辞典』, 岩波書店, 1999年, p.1358掲載の図 (図版作成: 青木政幸) 権利者の許可を得て掲載。
 C: 石上英一 [ほか] 編集『岩波日本史辞典』, 岩波書店, 1999年, p.1352掲載の図 (図版作成: 松藤和人、門脇秀典) 権利者の許可を得て掲載。
 D: 鳥取県埋蔵文化財センター『鳥取県埋蔵文化財センター調査報告8 青谷上寺地遺跡出土品調査研究報告1』, 2005年, p.33掲載の図 (鳥取県埋蔵文化財センターの提供による)
 E: 田辺昭三『須恵器大成』, 角川書店, 1981年, p.101掲載の図 権利者の許可を得て掲載。
 F: 上原真人『紫金山古墳の研究: 古墳時代前期における対外交渉の考古学的研究』, 京都大学大学院文学研究科, 2005年, p.148掲載の図 (図 版制作者: 岩本崇)
 G: 奈良文化財研究所『図説 平城京事典』, 終風舎, 2010年, p.423掲載の図 画像提供元: 奈良文化財研究所 権利者の許可を得て掲載。
 H: 吉田 靖 (監修)『民家と町並み』, 山川出版社, 2001年, p.17掲載の図 権利者の許可を得て掲載。
 I: 奈良文化財研究所『平城京左京七条一坊十五・十六坪発掘調査報告』, 1997年, PL.38-39. 権利者の許可を得て掲載。